

■シナリオ概要

2002年——夏。巨人伝説の残る島、^{たいたんとう}泰端島。

ひょんなことから『タイタンの遺産』と呼ばれる^{まいぞうきん}埋蔵金探しに
やって来た高校生探偵・^{みふねせんり}御船千里と刑事・^{とうごうかおる}東郷 薫は、巨人が起こした
たつしか思えない殺人事件に巻き込まれる。

被害者は、人力では動かせない巨岩に押し潰^{つぶ}されていたのだ。

- 探偵：^{みふね せんり}御船 千里

高校生探偵。特殊な能力を持っている。

東郷のことを信頼している。

- 刑事：^{とうごう かおる}東郷 薫

よく千里に捜査協力を依頼する刑事。

千里のことを信頼している。

- オーナー：^{おおのやま たかし}大ノ山 隆

泰端島でペンションを経営している。元力士。

- トレジャーハンター：^{もちだ ゆたか}持田 豊

日本各地の埋蔵金を探して回っている男性。

- 雑誌記者：^{みね ようこ}三根 葉子

オカルト雑誌の記者。^{でんしょう}伝承系のネタを得意とする。

- 古物商：^{さいおんじ しおり}西園寺 栞

古物品を手広く取りあつかう店の店主。

- 民俗学者：^{やなぎ のぶお}柳 信夫

泰端島の巨人伝説を調べている民俗学者。

- 江戸時代の名士：^{すおう たいざん}周防 泰山

江戸時代の泰端島の持ち主。タイタンの遺産を残した。

■ルール説明

◎ゲームの目的

ようこそ奇妙な殺人事件の世界へ。

このゲームでは、プレイヤー（P L）は探偵となり事件を捜査し、ゲームマスター（GM）は刑事となり探偵の捜査を補助します。

このゲームの目的は、探偵と刑事の二人で協力して事件の真相を解き明かすことです。

◎ゲームの事前準備

GMは予め**解答シート**（*Ans.*）を確認し、P Lの推理の正誤判定ができるようにしておいてください。P Lの事前準備はありません。

また、GMは事前にすべての資料を確認しておいても構いません。

◎ゲームの流れ

1. ルール（本紙）を確認する
2. 担当キャラクターの**H O 1** ページ目を読む
3. プロローグを読み合わせる
4. 担当キャラクターの**H O 2** ページ目以降を読む
5. オープニングを読み合わせる
6. 捜査開始（以降は適宜指示に従う）
7. 最終推理
8. エンディング&エピローグを読み合わせる

※捜査開始からゲーム終了までの目安は、およそ120分です。

◎資料の読み方

すべての資料は、ココフォリア上の**本アイコン**をクリックすることで読むことができます。

文字が赤いアイコンの資料は、指示があるまで読むことができません。指示があった場合は、そのアイコンを公開（あるいは自分だけ見る）することで、読むことができるようになります。

公開されている資料は、ゲーム中いつでも確認して構いません。

◎捜査の進め方

ゲームを進めていき、「証拠カードを調査する」という指示があった場合は、探偵と刑事で**交互**にカードをめくっていきましょう。

カードの操作方法は次の通りです（アイコンも同様に操作可能）。

- **全体に公開する**

カードをクリックしてから【O】キー

- **自分だけ見る**

カードをクリックしてから【T】キー

- **拡大表示**

カードをクリックしてから【E】キー

◎キャラクターについて

キャラクターのHOでは、探偵と刑事の性別や細かい性格などは決まっていません。二人がどのような関係かは、キャラクターHOの1ページ目を確認した後、GMとPLで相談して決めてください。

各種資料の探偵と刑事の台詞（喋り方）は、適宜設定した性格・^{てきぎ}関係性に合わせて修正してください。